

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	高松市健康増進温浴施設(ループしおのえ)		
-----	----------------------	--	--

指定管理者	シンコースポーツ・四電ビジネスグループ	施設所管課等	スポーツ振興課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市塩江町安原下第3号2074番地2	業務の概要	・施設運営・維持管理 ・受付業務・プール監視・施設清掃・設備維持 ・自主計画業務(水泳教室・レッスン・イベント) ・プール利用料金に関する徴収等事業
施設の概要	【施設】鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地下1階地上1階 ・温水プール(20m×3コース/歩行コース1周60m/キッズプール・アクアジム ・更衣室・浴槽他 【職員状況】 ・プール施設管理 常駐5名/設備員 非常駐2名※季節により変動あり 【開館時間】終日10:00～20:30 毎週火曜日休館		

	項目名	令和4年度	令和3年度	項目名	令和4年度	令和3年度
利用状況等	プール利用者	48,490 人	47,618 人	自主事業(サブプログラム)	366 回	475 回
	自主事業(水泳教室)	5 期	5 期	自主事業(サブプログラム)参加	2,467 人	2,543 人
	自主事業(水泳教室)参加人数	490 人	472 人			
収支状況等	指定管理料	59,931 千円	59,766 千円	支出実績(総額)	72,031 千円	72,694 千円
	収入実績(総額)	77,952 千円	75,482 千円		千円	千円
	(うち利用料金自主事業料金)	18,021 千円	15,717 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	幅広い年齢層の方が利用できる健康増進温浴施設として年間を通じて様々なイベントを開催。また利用者アンケートを年間9回以上実施。利用者意見・要望を把握し、サービス向上に取り組んだ。昨年度に引き続き管理運営に携わる担当者が集まり運営委員会高松市担当課と行う月例会議を月一回実施し今後の計画や報告反省点や問題点等の意識統一を図った。	A
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	利用促進、施設PRのためホームページやSNSによる定期的な情報配信を行い、遠方の地域には年間計画をベースに折込みチラシを配布。近隣地域・施設へのポスティング及びチラシ設置。加えて「ままといっしょ」、「四国新聞」、「NICE TOWN」への掲載を実施した。自主事業に関しては水中・陸上レッスン・大人・子供向けの水泳教室や物品販売を行った。また利用者ニーズに対応するためアンケート実施。コロナの影響も有る中でも昨年度との比較において利用者数が574名増加した。トラブルや苦情については情報の共有と対象、対応の意識改善できるものは迅速に対応し、安心安全で利用しやすい施設作りに取り組んだ。	B
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	安全管理とサービス向上を図り快適な環境提供できる人員配置を行うためのシフト、ローテーションを作成。CPR、応急処置、救助技術向上緊急時対応研修を定期的に実施。社内の合同研修接客接客救助技術向上等を計画通り年2回実施することで業務の質の維持、向上、レベルの統一を図った。就業規則に基づき日常業務及び業務管理を行い、時間外労働の削減、有給年5回以上取得を達成。損害保険等運営業務及び維持管理業務ともに適切な保険加入している。施設経費の執行については売上経費の定期的な監査を受け、昨年度に引き続き社内監査員による内部監査(資金管理)も実施(上半期・下半期1回ずつ)し、指摘事項なく適切な管理が出来ている。	A
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	他の類似施設と比較してすべての方が利用しやすい金額設定で運営を行った。夏季には夏休みの子供たちが利用しやすいようサマーキッズパスを設定。自主事業では利用者の方々のニーズに合った「レッスン・スクール」「物品販売」を行い継続的な利用につながるようサービス向上に取り組んだ。経費の削減対策については節電対策を徹底。昨年度使用量の約4%の削減。昨年度に引き続き運営労務コンプライアンス巡回(上半期・下半期1回ずつ)実施。勤怠管理システムや経理精算システムを活用し迅速かつ適切に管理を行った。	B

総合評価コメント	総合評価
施設利用者が、安心して利用できるように有資格者の配置や定期的な研修の実施など、事故を未然に防ぐ取組を行っており、また、有資格者による保守点検等、不具合箇所の早期発見等安全対策を実施している。さらに、個人情報の保護については、研修やマニュアルの作成を実施しており、評価できる。 毎月、管理運営に携わる担当者が構成される運営委員会や市担当課と委員会構成員との業務報告を行い、市からの要望についても迅速に対応・報告ができています。 子どもや年配の方を対象にしたイベントや、季節に合わせたイベントなど、年間を通じて様々なイベントを開催、利用者アンケートも年間9回以上実施するなど、利用者意見・要望の把握に努め、サービス向上に取り組む、また、新規利用者や障がい者の方が気持ちよく施設を利用できるように、接客接客技術等向上社内合同研修を行い、施設内も分かりやすい案内表示に努めている。 ホームページの更新を随時行う以外に、より多くの利用者に情報提供できるよう、FacebookやLINE、近隣や遠方地域へのチラシの配布など、幅広い年齢層の利用者にさまざまな方法でPRできており、評価できる。 就業規則に基づき日常業務及び業務管理を行い、時間外労働の削減、有給年5回以上取得を達成するなど、施設管理を安定して行うための人員確保につながる取組を実施しており、評価できる。 毎月のレッスン内容について、利用者アンケート等、利用者から寄せられる声を取り入れ、利用者のニーズに合った内容に見直して実施したり、物品販売を工夫する等により、適正な経常利益を計上しており、健全な財政基盤を維持している。また、節電対策を徹底し、経費削減に取り組んでいる。	B